追加事例

令和6年(2024年)3月に新たに追加した事例の紹介

▶ 開削工事における通行車両への安全対策

- ✓ 緊急車両や、どうしても出入りしなくてはならない車両を通行させるためのセーフカバーの設置。
- ✓ 手で運べる重量(42kg~48kg)でありながら900mmの掘削幅なら耐荷重3.5tまでの重量に耐えられる。





> 作業船上の安全通路確保

✓ 作業船上の安全通路の明示にカラーコーンではなく磁石付きのポールを使用している。 カラーコーンによるつまずきを防止し、安全通路を従来より広く使用することが可能。





(港湾局)



▶ スポットライトを活用した立坑下荷卸場所の見える化

- ✓ 深さ約50mの立坑内にスポットライトを設置し、作業前に荷卸場所を光と色で明示することで、クレーンオペと荷受者相互に荷卸場所や退避場所を目視で確認し、安全性の向上と勘違いなどによるヒューマンエラーを防止している。
- ✓ スポットライトの方向、明示の大きさは地上部でリモコン操作でき、荷受側の状況に迅速に対応できる。

立坑下荷卸し場所明示

スポットライト取付







(水道局)

▶ 誤操作防止カバーの設置

✔ 機械の点検作業中に操作してはいけないスイッチの上にカバーを付けることで、誤操作を物理的に防止している。



➤ ICTの活用による重機周りの安全性の向上

✓ 建設機械の周りで丁張り・検測を行う作業員が不要となることで、建設機械との接触事故リスクを低減し、安全性が向上する。





(都市整備局)

➤ WEBカメラを用いた覆工板開閉を伴わない立坑内点検

有線回線を必要としないモバイル通信が可能なWEBカメラを立坑内に設置することで、24時間いつでも遠隔 から迅速かつ安全に立坑内点検が可能。

夜間・休日、豪雨時の立坑内状況確認において、路上に作業帯を設置して覆工板を開閉する作業が不要と

なり、道路規制による地域住民への負担を軽減。



(防水) (防塵)





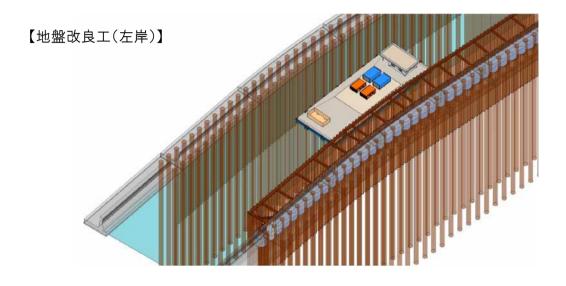


(水道局)

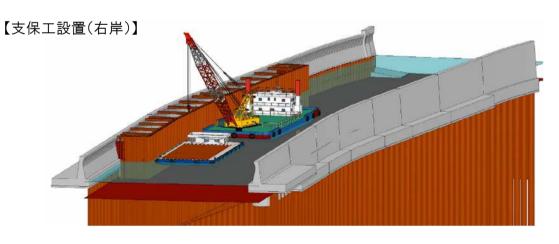


> 3D動画を用いた新規入場者教育

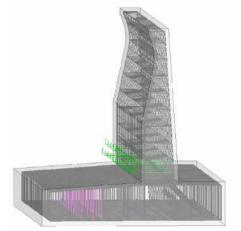
- ✓ 一連の施工内容について、3D動画を作成し、新規入場者教育の際に活用している。
- ✓ 3D動画は、直感的に分かり易く、より効果的な教育が期待できる。







施工手順説明用3Dモデル



鉄筋配置説明用3Dモデル

(建設局)



> リモート映像による工事現場の安全対策

- ✓ 現場作業映像を社内で共有することにより、複数の目で工事事故を防止している。
- ✓ カメラを設置することにより、作業員の安全意識を向上させ不安全行動を抑制している。



【社内にて作業状況を確認し安全対策を指示】

【現場を見渡せる場所にカメラを設置】

(水道局)

